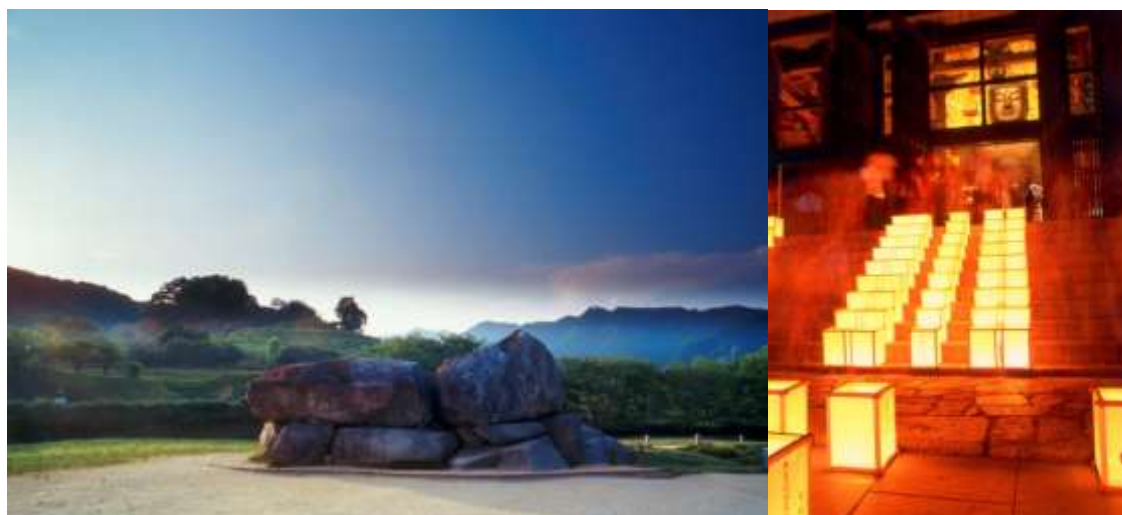


2022 年度公益社団法人 日本社会福祉士会

# 第 30 回 近畿ブロック研究・研修 奈良大会

ともに考え、ともに歩む、伴走型支援  
～みんなとなら(奈良)できる！  
誰ひとり取り残さない社会を目指して～

## オンライン配信のご案内



配信期間: 2023 年 2 月 11 日(土)～2 月 26 日(日)

主 催 : 公益社団法人日本社会福祉士会近畿ブロック研究・研修大会運営委員会

2022 年度 公益社団法人 日本社会福祉士会  
第 30 回近畿ブロック研究・研修奈良大会開催要項

◆大会テーマ

ともに考え、ともに歩む、伴走型支援

～みんなとなら(奈良)できる！

誰ひとり取り残さない社会を目指して～

◆開催趣旨

新型コロナウイルスの世界的な感染拡大で日本の福祉を取り巻く社会環境はその影響をまともに受けている状況です。医療、経済、労働、教育などの打撃は大きく、広く日本中が不安の中に落とし込まれた状況も経験しました。これまで、こうした社会状況に対して、障がい、高齢、児童など属性・対象者のリスク別の制度を発展させてきました。しかしながら、一つの世帯に複数の課題が存在している状態(80代の親が50代の子どもの生活を支える8050問題、介護と育児のダブルケア、ヤングケアラー)や、世帯全体の孤立化、虐待など、住民が抱える課題が複雑化・複合化する中で、従来の支援体制ではケアしきれず「社会的サポート」とつながらない負の循環のケースが発生してきました。

このような社会情勢の中で、ソーシャルワーカーに対する期待が今まで以上に高まっています。「地域共生社会の実現」に向けてミクロ、メゾ、マクロレベルの視点から地域住民をはじめ民生委員・児童委員や自治会等との協働は必要不可欠です。また、福祉分野に限らず司法や医療、教育などあらゆる分野の専門職を含めた多職種と連携しながら支援課題を分析し、多様化する社会問題へ対応していくことが重要です。さらに、その対応を支援者や支援機関とつながり続けること(伴走していくこと)こそ、我々社会福祉士に求められていることではないでしょうか。

今年度、近畿ブロック奈良大会は昨年の和歌山大会に引き続きオンライン開催となります。オンラインの強みを生かし、多くの仲間が、基調講演、シンポジウム、実践発表を視聴し、「社会福祉士の存在価値」を改めて再認識していただける場として、第30回近畿ブロック研究・研修奈良大会を開催いたします。

◆開催日 2023年2月11日(土) 9:00 配信開始  
\*配信期間は約2週間(2月26日17:00まで)

◆開催方法 オンデマンド開催  
※コロナ禍を配慮しオンライン配信での開催となります。  
内容は事前に録画したものを配信させていただく事になります。  
ご理解、ご協力お願いいたします。

◆大会参加費 無料  
※お申込が必要となります。(お申込については、後日、奈良県社会福祉士会ホームページにてお知らせいたします。)

◆参加定員数 400名

◆参加対象者 ・公益社団法人日本社会福祉士会に属する都道府県社会福祉士会会員  
・一般参加者  
・学生

◆主 催 公益社団法人日本社会福祉士会近畿ブロック研究・研修大会運営委員会  
(事務局:奈良大会実行委員会)

◆後 援(予定) 奈良県 奈良県社会福祉協議会 奈良県弁護士会 奈良県司法書士会 リーガルサポートセンター奈良県支部 奈良県介護支援専門員協会 奈良県介護福祉士会 奈良県精神科ソーシャルワーカー協会 奈良県医療社会事業協会 Nネット  
(順不同)

## ◆プログラム

・開会挨拶（約 10 分）

・シンポジウム（約 2 時間）

『奈良発！誰ひとり取り残さない社会』

コーディネーター 八木 三郎 氏(天理大学総合教育研究センター)

シンポジスト 市川 真由美 氏(NPO 法人無戸籍の人を支援する会)

山下 総司 氏(株式会社IDO介護事業部)

谷 緑 氏(奈良県スクールカウンセリングカウンセラー)

・基調講演（約 1 時間 30 分）

『助けてと言えるまち ―ひとりにしないという支援―』

講 師 奥田 知志 氏(東八幡キリスト教会牧師)

認定NPO法人抱樸(ほうぼく)理事長)

・「研究・実践発表・講評」(約 2 時間 30 分)

・近畿ブロック賞の発表(約 5 分)

・閉会挨拶(約 10 分)

・公益社団法人大阪社会福祉士会(次回開催地)から(約 15 分)

★合計約 6 時間 40 分の視聴プログラムを予定しています。

★オンデマンド形式で、随意の動画から視聴可能

## ◆大会参加申込方法

後日、詳細をご案内します。お申込については、奈良県社会福祉士会ホームページにて随時更新してお知らせいたします。

第 30 回 近畿ブロック研究・研修 奈良大会 研究・実践発表申込要項

発表資格	<p>公益社団法人日本社会福祉士会に属する近畿ブロック社会福祉士会会員に限ります。          会員以外の方との共同研究の場合、発表要旨に共同研究者名を記すことはできますが、発表者は会員に限ります。  <u>※研究・実践発表採用者は、近畿ブロック研究・研修奈良大会の参加申込が必要です。</u></p>
申込数	<p>一人一発表です。</p>
申込様式	<p>以下の1～4 申込書及び様式を揃えて提出してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 研究・実践発表申込書</li> <li>2. 個人・共同研究・実践発表原稿 様式①</li> <li>3. 個人・共同研究・実践発表原稿 (A4・2枚) 様式②</li> <li>4. 近畿ブロック大会研究・実践発表申込 自己チェックリスト 様式③</li> </ol>
申込先	<p>〒634-0061 奈良県橿原市大久保町 320-11          奈良県社会福祉総合センター5階          一般社団法人 奈良県社会福祉士会          第30回 近畿ブロック研究・研修 奈良大会 事務局          E-mail nara-csw@poppy.ocn.ne.jp          ※E-mail は必ず受取の返信を確認してください。</p>
締切	<p>研究・実践発表申込書 及び 個人・共同研究・実践発表原稿 様式①、個人・共同研究・実践発表原稿 (A4・2枚) 様式②、近畿ブロック大会研究・実践発表申込 自己チェックリスト 様式③を 2022年9月22日(木) 必着でメール送信してください。</p>
発表原稿作成上の注意	<p>発表原稿作成時の留意点</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 提出された原稿はそのまま版下として印刷しますので、必ずワードで作成した鮮明なものをお送りください。</li> <li>2. 原稿はA4 版横書き、2枚で作成してください。</li> <li>3. 文体は「である調」で作成してください。</li> <li>4. 謝辞は、不要です。</li> <li>5. 字数等は自由としますが、<u>上下左右の余白を25ミリ以上空けてください。</u></li> <li>6. 共同研究者が都道府県社会福祉士会の会員の場合は、氏名、会員番号、所属する都道府県士会名を記載して下さい。会員外の場合は、氏名と所属先名称を記載して下さい。役職名の記載は不要です。</li> <li>7. 「倫理的配慮」は必ず明記してください。</li> <li>8. 査読の結果、修正をお願いすることもありますので、ご了承ください。</li> <li>9. 原稿などは、一切返却できません。</li> <li>10. 発表は、発表動画(15分)を準備していただきます。撮影については、所属されている各府県士会でお願ひします。その他、詳細については、発表者決定後にお知らせいたしますが、前もってご準備してください。</li> </ol>

審査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・申込数・内容等を勘案・審査した上、採否を決定し、締切日以降、申込者に個別に通知する予定です。なお、選考にあたり査読委員会による査読があります。</li> <li>・採用にあたっては、実践にもとづく発表を優先することがあります。</li> <li>・内容等については、大会実行委員会が助言する場合があります。</li> <li>・採用数が定数に満たない場合、追加募集をすることがあります。</li> </ul>
採用	<p>採用数：9 発表程度</p> <p>採用通知期日：2022年11月上旬</p>
様式②	<p>採用された方は、修正コメントに基づいて様式②（発表原稿）を修正してください。提出された様式②はそのまま版下（視聴者用ダウンロード資料）として使用しますので、必ずワードで作成した鮮明な原稿を提出してください。</p> <p>※申し込まれた発表について、査読者より修正コメントがあり、ご自身でうまく修正が出来ない場合は、各府県士会事務局にお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●提出先：第30回 近畿ブロック研究・研修 奈良大会 事務局 (申込時に提出済みの「個人研究・実践発表原稿様式①、様式③」)の再度の提出は不要)</li> <li>●提出期日：2022年11月30日(水) 必着</li> <li>●提出方法：申し込み同様、メール添付にて提出してください。</li> </ul> <p>※期日までに提出のない場合、採用を取り消し、発表を認めないことがあります。</p>
発表撮影とデータ送信	<p>動画配信のため、事前に発表を撮影します。</p> <p>撮影方法については、所属されている各府県士会より採用者へご案内します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●撮影日時：撮影は採用通知後～12月11日（日）の期間で所属されている各府県士会とご調整頂く事となります。 (スケジュールがタイトなので発表資料などはあらかじめご準備されることをお勧めします。また、合理的配慮の観点からご協力をお願いします。)</li> <li>●発表時間：15分</li> </ul> <p>撮影された動画データの送信について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●提出先：第30回近畿ブロック研究・研修奈良大会事務局</li> <li>●提出期日：2022年12月12日（月）必着をお願いします。</li> <li>●提出方法：CD-ROMで郵送してください。オンラインで提出される場合はご連絡ください。</li> </ul>
その他	<p>※申込者の個人情報の取り扱いについて</p> <p>申込時に記入いただいた個人情報は、大会運営に必要な範囲において使用します。</p> <p>また、発表者氏名、所属（府県士会）、発表テーマについては大会参加者の便宜のため、奈良県社会福祉士会ホームページ等で公開します。</p> <p>※本大会発表については、2021年同様の発表となります。オンライン配信形式を取るため、あらかじめ発表を録画したものととなります。</p>

研究・実践発表申込書

私は、研究・実践発表申込書に記載の通り研究・実践発表原稿を作成し、申し込みます。

西暦 年 月 日作成

ふりがな 氏 名	所属する府県社会福祉士会名
	会員番号：
所属先名称	職種または役職
連絡先（自宅・勤務先）※どちらかに○をつけてください。	
〒 住 所： 連絡先 TEL： 携 帯 TEL： メールアドレス：	

個人研究・実践発表原稿 様式 ①

氏名：

所属：（ ）社会福祉士会

会員番号：

研究方法： 文献研究 実証研究 量的研究 質的研究 実践研究  
※研究方法について上記から該当するものを選び、チェックしてください。（複数可）

発表テーマ

発表希望分科会（一つ選択）

「権利擁護」 ・ 「生活構造」 ・ 「相談援助」  
「地域支援」 ・ 「福祉経営」 ・ 「実践研究」

（分科会選択の理由）※発表内容は、別紙：発表要旨原稿に記入してください。

同様のテーマでの発表履歴： なし ・ あり →以下記入

原則、同一の内容を他学会等で発表したものは受け付けられません。ただし、都道府県社会福祉士会またはブロックにおける発表についてはこの限りではありません。

①発表年月，②大会名など，③タイトルを記入（発表者名は記入しない）

共同研究者： なし ・ あり→（ ）名（共同研究者名は記入しない）

近畿ブロック奈良大会運営委員会への連絡及び問い合わせ事項： なし ・ あり→以下記入

※枠内には発表者および共同研究者の氏名を記入しないでください



## 個人研究・実践発表原稿 様式 ②

- ・《 》の箇所には、《 》内の内容を記載した後、※.《 》内および《 》そのものは削除する。
- ・（ ）内には、そこに書かれてある内容を記載し、（ ）そのものも残す。
- ・本文は明朝体細字 10.5pt で記載する。

《タイトル：ゴシック体》

《サブタイトル＝ゴシック体》

《一行空き》

○《発表者の氏名》（所属先）《府県名》社会福祉士会（会員番号）

《共同研究者氏名》（会員番号・所属社会福祉士会）、《共同研究者氏名》（会員番号・所属社会福祉士会）、《共同研究者氏名》（会員番号・所属社会福祉士会）

### I. 研究目的

《この研究はどのように社会に貢献するか、意義があるかなど、研究目的を記述》

### II. 研究方法

《「研究目的」をどのような手順で明らかにするかを記述》

### III. 倫理的配慮

《必ず明記する》

### IV. 結果

《調査（アンケート、インタビューなど）の結果、または、事例等を記述》

## V. 考察

« 「IV. 結果」 (または、支援経過) を受けて、なぜそのような調査研究結果になったかの考察を記述 »

## VI. 結論

参考文献：

※おおむね以上のような構成として、必要に応じて見出しを工夫してください。

※日本社会福祉士会『研究誌』を参考にして記述してください。最新号をご確認ください。

近畿ブロック大会 研究・実践発表申込 自己チェックリスト 様式 ③

発表者の氏名( ) 所属府県名( )社会福祉士会 会員番号( )

※必ず下記の項目について確認し、レ点を入れて、自己チェックをしてください。  
(チェックがないものについては申込を受け付けられませんので、ご了承ください)

倫理

- 1 対象者の安全および人権の擁護、特に研究に関する知る権利、自己決定の権利に対する配慮ができています。
- 2 個人情報や秘密の保持、写真の使用などプライバシーに配慮ができています。
- 3 対象者に行った倫理的配慮を明記している。
- 4 日本社会福祉士会研究倫理規程、正会員に所属する社会福祉士が実践研究等において事例を取り扱う際のガイドライン、研究倫理ガイドライン、論文等の投稿に関するガイドラインに反していない。

構成

- 1 原稿の冒頭には、タイトル、サブタイトル（任意）、発表者氏名・所属先・所属社会福祉士会・会員番号、共同研究者の氏名・会員番号・所属社会福祉士会が記載されている。
- 2 本文は、研究目的、研究方法、論理的配慮、結果、考察、結論を見出しに使用しながら、もしくはこれらを意識しながら構成されている。

研究・実践発表原稿記載様式

- 1 原稿は A4 版横書き、2 枚で作成されている。
- 2 ワードで作成されている。
- 3 発表者氏名の前に「○」をつけてある。
- 4 余白は、上下左右を 25 ミリ以上としている。
- 5 フォントは明朝体細字 10.5pt で作成されている。
- 6 文体は「である調」で作成されている。

発表原稿以外の発表資料の有無

- 有 ・  無